

# 古代山城 日韓シンポジウム

～瀬戸内・日本・東アジアからの視点で屋嶋城の実像にせまる～

シンポジウム

平成22年

10月16日(土)

定員260名

会場 サンクリスタル高松  
高松市図書館3F 視聴覚ホール  
開場 12:30～ 開演 13:00

見学会

平成22年

10月17日(日)

定員300名

コース 屋嶋城南嶺一周  
集合場所 屋島寺南 源平合戦供養碑前広場  
受付 8:30～ 出発 9:00



主催：高松市教育委員会

後援：朝日新聞高松総局・RSK山陽放送・RNC西日本放送・NHK高松放送局・OHK岡山放送・KSB瀬戸内海放送・産経新聞社高松支局  
山陽新聞社・四国新聞社・TSCテレビせとうち・毎日新聞高松支局・読売新聞大阪本社・瀬戸内国際芸術祭実行委員会

# 古代山城 屋嶋城

屋島南嶺に所在する関連遺構

天智天皇2（663）年の白村江の戦いで大敗した大和朝廷は、対馬・九州から瀬戸内海沿岸にかけて防御用の城を築きました。その一つがここ屋島に同6（667）年に築かれた屋嶋城です。

屋嶋城跡の外郭線（縄張り）は全長7 km に及びますが、そのほとんどは急な断崖による自然の要害で、城壁等の人工構造物を構築した範囲は全体の約 10% だけです。その中で最も大規模に城壁や城門が造られているのが、敵が攻めてくる西側にあたる谷筋に所在する南嶺地区の城門（下図の9）です。この他にも南嶺地区には城に関する遺構が確認しています（下図の青番号）。



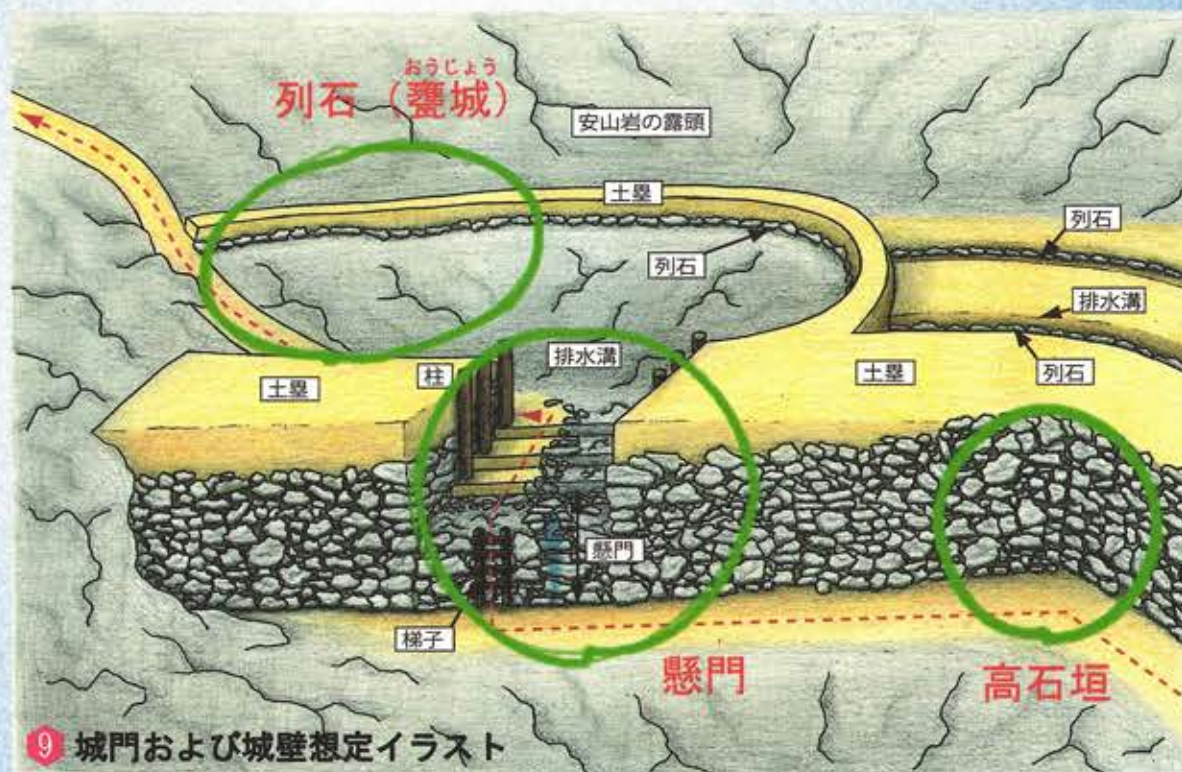
高石垣調査前



高石垣調査後



- 《見学予定地》
- 1 集合場所
  - 2 ビューポイント
  - 3 ビューポイント
  - 4 北水門
  - 5 北斜面土塁（土段）
  - 6 ビューポイント
  - 7 貯水池（血の池）
  - 8 ビューポイント
  - 9 城門
  - 10 南水門
- 四国霊場 84 番札所 屋島寺



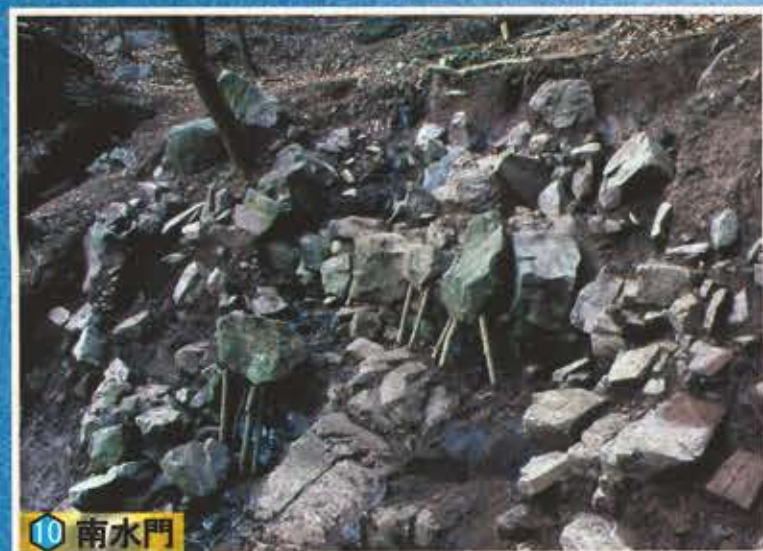
9 城門および城壁想定イラスト



城壁背面の列石



城門の内側で確認された列石 (甕城)



10 南水門



懸門 (外側から)



門道 (内側から)

## 屋島に所在するその他の遺跡

- 1 浦生石塁
- 2 長崎鼻古墳
- 3 千間堂跡
- 4 屋島寺
- 5 砲台跡
- 6・7 石切り丁場跡



浦生石塁



千間堂跡



長崎鼻古墳の石塁



長崎鼻古墳

屋島には古代山城屋嶋城跡や源平合戦の古戦場のほかにも、これまでの調査等によって、多くの史跡が点在していることが明らかになっています。

特に、屋嶋城跡の防御拠点の一つである浦生石塁が確認されています。他にも、熊本の阿蘇山石で造られた棺が発見された長崎鼻古墳、鑑真開基の言い伝えが残る屋島寺の前身と考えられる千間堂跡、そして現在まで法灯を守り続けている屋島寺、江戸時代に高松城へ石材を供給した可能性のある石切り丁場跡などです。

いずれも高松の歴史を考える上で欠くことのできない貴重な文化財です。歴史の舞台として屋島は長い間、人々の営みを見守ってきたのです。